

令和4年度 香ヶ丘リベルテ高等学校 学校評価

1. めざす学校像

建学の精神である「愛と真実の教育」「情操豊かな女子教育」を基本とし、新しい時代にはばたく力、生きる力を育む女子教育の理想をめざす

1. 明朗な女性の育成
2. 知性豊かな女性の育成
3. 実行力のある女性の育成

2. 中期的目標

1. 特色授業や行事を通して専門性を高める

(1) 本校独自の特色授業や行事を充実させる。

ア 普通科では、『美容芸術コース』『ファッションビジネスコース』『保育進学コース』『フィジカルコース』『アンダンテコース』『ライフデザインコース』『クッキングエキスパートコース』の7つのコースがある。さまざまな分野の知識や専門性を高めたり、自分の進路をゆっくりと考えて学んだり、それぞれコースの特色授業を通して夢に向かう生徒たちをサポートする。また、「実践的キャリア教育・職業教育支援事業」を踏襲しながら、各コース実習授業、資格取得や教育講演などを通してより専門性を高める。

※自己評価アンケートで、普通科の各専門的な授業で生徒の専門的な知識や技術を高める達成度を75%にする。

イ 各コースに応じた行事を設定する。その行事を通して、体験プログラムを実施し、より専門的な知識や技術を身につける。

※自己評価アンケートで、普通科の各コースに応じた行事で生徒の専門性を高める達成度を70%にする。

2. 個々に応じた学習環境の整備と自分の目指す進路の実現

(1) 授業だけでなく、「進路パイオニアクラブ」や「定期考査前補習」、「夏季休業中の自習室の開放」、「つまずき0プロジェクト」、「イングリッシュカフェ」、「朝礼前の漢字学習(通称 朝漢)」など学習環境を整備し、生徒に学習する場を与える。そして学習習慣の定着をさせ、学力向上につなげ、一人一人の進路の実現をする。

● 「つまずき0プロジェクト」では「数が苦」を「数楽」にする。苦手な数学を小学生の問題までさかのぼり、どこでつまずいているのかを確認し、本校のオリジナルテキストを使用し徹底的に苦手分野に取り組み克服する。

朝礼前には早朝テスト「朝漢(あさかん)」、定期考査前の放課後には学年別、教科別で希望者対象の補習を実施し、土曜日の放課後には「イングリッシュカフェ」に取り組み、個々に応じた学習環境を整備する。

※自己評価アンケートで個々に応じた学習環境の整備により、学習する場を与える達成度を70%にする。

3. 身だしなみ・マナー指導による女子教育

(1) 生徒のマナー意識を高め、頭髪・服装指導を徹底し、身だしなみを整える。

ア 「女子力の更なる向上」(社会生活3つの基本)として「挨拶・返事・言葉遣い」を大切にし、生徒のみならず教員も含め学校全体での取り組みを目指す。

※自己評価アンケートのマナー意識の達成度を80%にする。

イ 身だしなみ指導として、頭髪・服装指導を徹底する。自分の母校となる学校の制服にプライドを持たせ、身だしなみを整えることにより、より本校の魅力を示す。

※自己評価アンケートの身だしなみ・服装・頭髪指導の達成度を80%にする。

自己評価アンケートの結果と分析

<教職員>

☆特色授業や行事を通して専門性を高める

- ・今年度も昨年と変わらず7つのコースを特色としてスタートした。各コースの専門科目の知識及び技術習得の達成度は47.2%（昨年度57.5%）と過半数を割り込む結果となった。コロナ感染防止を意識最しながらの授業展開はあらゆる制約が発生したが、キャリア教育を中心とした取り組みの安定感を示す1年だったといえる。今後も基礎学力の向上を軸に、各コースの専門学習や体験を更に充実させていきたい。
- ・各コースに応じた行事で、各コースの生徒の専門性を高めるという達成度は50%であった。各コースの特色を全面的に出して、学習面に限らず行事面も並行して、本校だからこそ出来る生徒の将来の可能性を広げていく教育を展開していきたい。

☆個々に応じた学習環境の整備と自分の目指す進路の実現

- ・個々に応じた学習環境の整備により、生徒に学習する場を与えるという達成度は33.3%という結果に終わった。
朝の漢字テストなどは、日々の努力をコツコツ積み上げていく教育であり、本校の生徒の実情に応じて一人一人に合った教育を細かく設定できたと振り返る。次年度も継続できるよう生徒のサポートをすすめていきたい。
- ・生徒の進路目標を設定させることについては、53%の到達度であった。各コースの特色から未来の選択肢につなげていくことに成果が出ているといえる。これからも多様化する進路選択に早く対応し、一人一人が満足できる進路の実現に力をいれていきたい。

☆身だしなみ・マナー指導による女子教育

- ・身だしなみ・頭髪・服装指導を徹底することに関しては、44.4%と昨年度から微少した。身だしなみ指導に限らず学校の指導の意図が生徒のみならず保護者に理解を得られないケースが年々増加しており、その対応に追われる教員の疲弊が今回の結果を導き出していると推測される。しかし生徒へのアプローチを試行錯誤しながら引き続き、自分の母校となる学校の制服にプライドを持たせ、正しい着用をすることにより、より本校の制服の良さや魅力も示していきたい。指導の工夫・改善については27.5%と昨年度までの指導の慣れが出ないように、更に工夫改善をしていきたい。

<自己評価アンケートの結果と分析>

3. 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
<p>1. 特色授業や行事を通して専門性を高める</p>	<p>(1)本校独自の特色授業や行事を充実させる。 ア夢に向かう生徒たちをサポートする。</p> <p>イ各コースに応じた行事を通してより専門的な知識や技術を身につける。</p>	<p>ア・「美容実習」「メイク実習」「ネイルアート」「ファッション造形」「ショップコーディネイト」「チャイルドヘアメイク」「キッズイングリッシュ」「ピアノ」「朗読」「保育理論」「製菓理論・調理理論及び実習」など、さまざまな分野の特色授業によって、専門的な技術や知識を習得する。</p> <p>・「アンダンテ実習」では、「職業・職種研究」から「進路プランニング」を立て、自分の進路を3年間かけてゆっくり丁寧に考える。</p> <p>・「実践的キャリア教育・職業教育支援事業」を踏襲しながら、各コース実習授業、資格取得や教育講演などを通してより専門性を高める。</p> <p>イ・各コースに応じた行事を設定する。「美容メイクショー」「ファッションショー」「ネイルアート展示」「アクセサリー販売」「保育実習」などの行事を通して、より専門的な知識や技術を身につける。</p> <p>・「企業見学会」「大学見学会」「キャリア教育講演会」「アンダンテ発表会」などの行事を通して、自分のやりたいことを見つけ、専門性を高めていく。</p>	<p>ア自己評価アンケートで、普通科の各専門的な授業で生徒の専門的な知識や技術を高める達成度を70%にする。</p> <p>イ自己評価アンケートで、普通科の各コースに応じた行事を通して生徒の専門性を高める達成度を70%にする。</p>	<p>ア「美容実習」「メイク実習」「ネイルアート」「ファッション造形」「ピアノ」「朗読」の実習授業で専門的な技術を身につけるという達成度は47.2% (▽) となった。また「ショップコーディネイト」「チャイルドヘアメイク」「キッズイングリッシュ」「保育理論」などの専門的な授業で知識の習得に関する達成度は50.0%となった。ライフデザインコースでは「秘書技能検定」「硬筆書写検定」で資格取得者もあり、将来の進路選択につながり、専門性を高めている。</p> <p>クッキングエキスパートコースでは、週2回の実習と座学で専門的な技術と知識の習得が期待される。</p> <p>イ 各コースに応じた行事で各コースの生徒の専門性を高めるという達成度は44.5%となった。完成度の高い行事であるために、年々求めるものは高くなっている。常に達成度を高めていくためには、それぞれの行事のPDCAによる総括を元に、企画・準備をしていき更により良い行事を作っていきたい。そして充実した学校行事の運営に努めていきたい。</p>

<p>2. 個々に応じた学習環境の整備と自分の目指す進路の実現</p>	<p><普通科> ア苦手科目に対する取り組み</p>	<p>ア・数学では「数が苦」を「数楽」にする。苦手な数学を小学生の問題までさかのぼり、どこでつまづいてしまっているのかを確認し、本校のオリジナルテキストを使用し徹底的に苦手分野に取り組み克服する。</p> <p>・朝礼中は早朝テスト「朝漢（あさかん）」、定期考査前の放課後には「寺小屋」、土曜日の放課後には「イングリッシュカフェ」に取り組み、個々に応じた学習環境を整備する。</p>	<p><普通科> ア自己評価アンケートで個々に応じた学習環境の整備により学習する場を与える達成度を70%にする。</p>	<p><普通科> ア個々に応じた学習環境の整備により学習する場を与える達成度が33.3%となった。</p> <p>アンダンテコースのみ数学の学び直し授業を2時間確保。参加生徒に対し丁寧に指導をしてきた。数学だけでなく、「イングリッシュカフェ」は教科の先生も参加して楽しく英語と触れ合う機会を持った。また、今夏は関西国際空港に生徒を引率し、外国の方と会話をするという企画を実施し、概ね好評であった。</p> <p>その他、各教科の補習については、定期考査対策として全学年であらゆる形で実施。コツコツとした指導を積み重ね、生徒に自信をつけることで学習習慣を身に着くようにしていきたい。漢字検定にもつながる早朝テスト（通称：朝漢 あさかん）も引き続き実施できた。</p>
<p>3. 身だしなみ・マナー指導による女子教育</p>	<p>(1) 生徒のマナー意識を高め、身だしなみを整える。 ア身だしなみ指導の徹底</p>	<p>ア身だしなみ指導として、頭髪・服装指導を徹底する。自分の母校となる学校の制服にプライドを持たせ、身だしなみを整えることにより、より本校の魅力を示す。</p>	<p>ア自己評価アンケートで生徒の身だしなみ・頭髪・服装指導を徹底する達成度を80%にする。</p>	<p>生徒の身だしなみ指導を徹底する達成度が44.4%となった。マナー意識と同様に年々身だしなみ意識も高くなっては来ている。達成度については、目標数値を超えることができていないので、更に、自分の学校を大切にして、より自分の母校にプライドを持たせ、身だしなみから整える意識を醸成していく。そして本校の制服の良さや魅力も示していきたい。</p>